

# 経営比較分析表

埼玉県 美里町

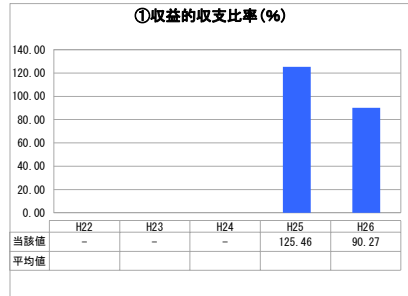
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.49	100.00	2,160

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,589	33.41	346.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
633	0.20	3,165.00

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



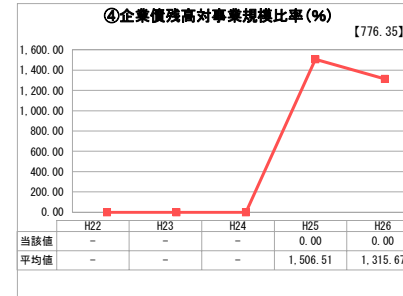
「単年度の収支」



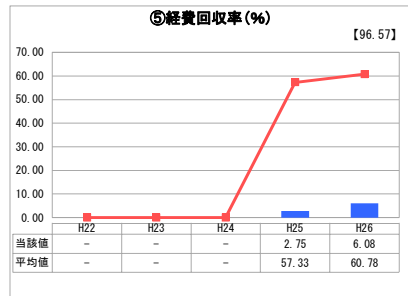
「累積欠損」



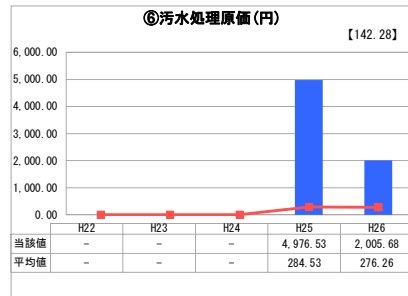
「支払能力」



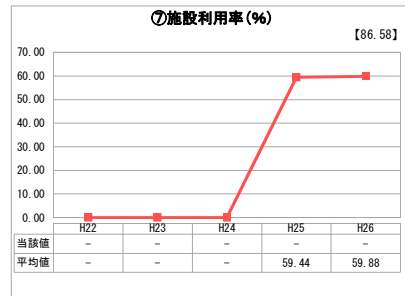
「債務残高」



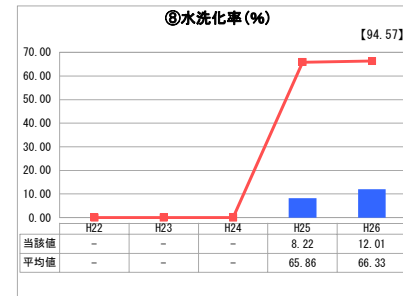
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

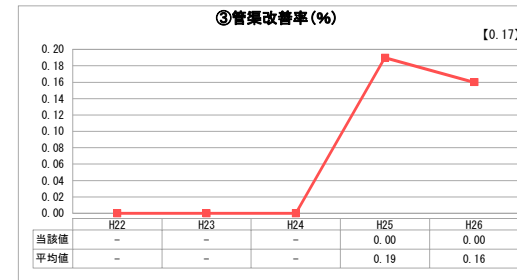
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

単年度収支は黒字であるが料金収入は極めて少なく一般会計繰入金が入るのほとんどを占める状況である。また、供用開始から間もないため水洗化率が著しく低い状況である。

### 2. 老朽化の状況について

下水道事業開始から間もないため数年の間は老朽化の心配はない状況である。しかし、管路の点検や地盤の沈下等の状況確認を行うため巡回・点検経路を策定し効率的実施する必要がある。

## 全体総括

安定した事業経営を行うためには、歳入の根幹である使用料を確保することが必要のため、事業の進捗を図り、未接続者への加入への取り組みを行い歳入の確保を図りたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。